

製品名: ENO1 (3F7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03551**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | 人間、マウス、ラット、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名 | ENO1 |
| 別名 | NNE; PPH; MPB1; ENO1L1; HEL-S-17 |
| 遺伝子 ID | 2023 |
| SwissProt ID | P06733 |
| 免疫原 | ヒト ENO1 の合成ペプチド |

背景

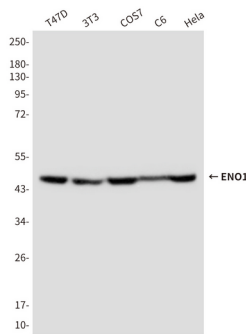
多機能酵素であり、解糖系における役割に加え、成長制御、低酸素耐性、アレルギー反応など、様々なプロセスに関与しています。白血球やニューロンなど、様々な細胞種の細胞表面においてプラスミノーゲンの受容体および活性化因子として機能するため、血管

内および細胞周囲の線溶系においても機能する可能性があります。免疫グロブリン産生を刺激します。MBP1はmycプロモーターに結合し、転写抑制因子として作用します。腫瘍抑制因子となる可能性があります。その他、多くの腫瘍の診断マーカーとして使用され、ヘテロ二量体である α/γ は心停止後の低酸素性脳障害のマーカーとして使用されます。子宮内膜症のマーカーでもあります。癌関連網膜症候群 (CAR) の患者血清中には、 α -エノラーゼに対する抗体が存在します。CARは進行性失明に至る疾患で、全身性腫瘍の増殖 (主に肺小細胞癌やその他の悪性腫瘍) を伴います。橋本脳症 (HE) は、橋本甲状腺炎 (HT) に関連する稀な自己免疫疾患ですが、この疾患の自己抗原として同定されています。HTは、破壊的なプロセスによって甲状腺の潜在的な置換能力が損なわれ、甲状腺機能低下症に至る疾患です。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



Enolase1 抗体を使用した、T47D、3T3、COS7、C6、および HeLa 溶解物中の Enolase1 のウェスタン ブロット分析。